

ワークスタイル変革の推進 時間や場所に捉われない柔軟な働き方を実現

株式会社クレディセゾン（本社：東京都豊島区、代表取締役（兼）社長執行役員 COO：水野克己、以下：当社）は、経営理念である「サービス先端企業」として新たな価値を提供し続けるための環境作り・風土作りを目指し、ワークスタイルの変革を推進しており、その一環として、この度、全社的なオフィスの在り方を見直すことといたしました。

当社では、2017年9月に社員区分を撤廃し、全社員を無期雇用とした上で賃金を含むすべての制度を統一する「全社員共通人事制度」を導入し、テレワークや1時間単位有休など、社員全員が自分らしく生き活きと充足感を持って働けるよう、各種制度の柔軟性を高め、多様な働き方の実現に取り組んでいます。また、2017年より本社や一部事業所にて、社員の自主性を尊重するフリーアドレスの導入や開放的なコミュニケーションスペースの新設など、段階的に効率的・快適なオフィス環境の整備を進めています。コロナ禍においては、感染症対策と生産性向上の両立に向け、テレワーク環境の整備やWEB会議システムの導入により、働き方の多様性を一層進めてまいりました。

今回さらに、ニューノーマルにおける新たな働き方の実現に向け、固定的なオフィスに出勤することを前提とした従来型の働き方を見直し、三井不動産が運営する法人向けシェアオフィス「ワークスタイリング」の活用により、場所や時間に捉われない柔軟な働き方を通じて、社員の活躍推進に向けた取組みを進めてまいります。また、固定的なオフィスは最小限に留め、支社を中心とした全国各拠点におけるワークスタイルの変革および業務効率化を進め、国内ネットワークの再構築を進めてまいります。

現在当社は、当社グループが一体となり、リアルとデジタルを融合することでカスタマーサクセスの実現を目指す「総合生活サービス企業グループへの転換」に取り組んでいます。ワークスタイル変革を通じて、社員一人ひとりにイノベーションを促し、新たなビジネスモデルの創造に挑戦してまいります。